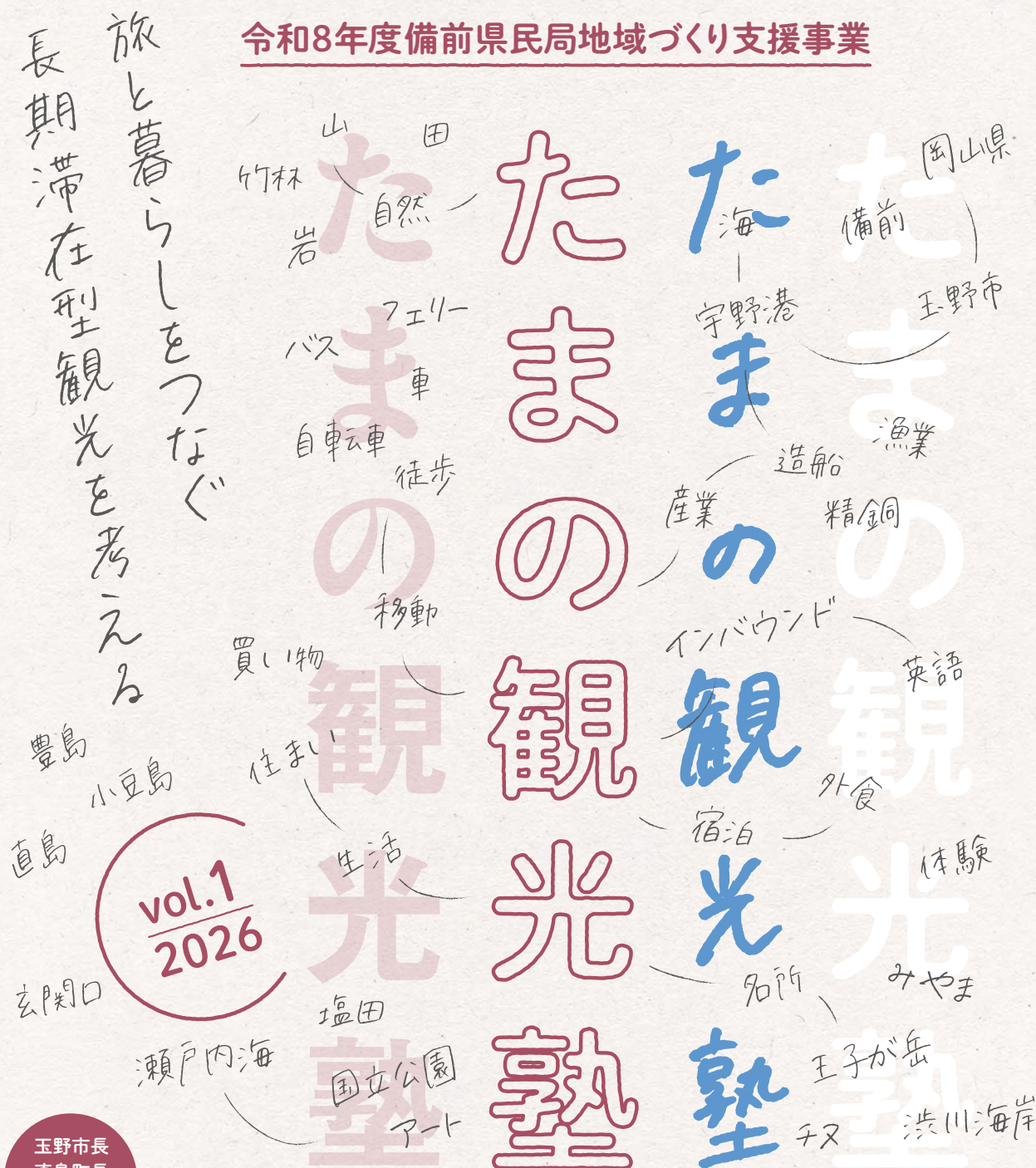


「通過する」まちから、「滞在したくなる」まちへ

令和8年度備前県民局地域づくり支援事業



玉野市長
直島町長
セッション登壇

第1回

9.5 [±]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク
『玉野アルプスの魅力と可能性』
案内人: 古谷啓太郎

p.m. 講座
『選ばれ続ける地域とは一地域振興になぜ観光が必要なのかー』
『「通過」を「滞在」に変える地域経営』
『キックオフセッション』
講師・登壇: 山田桂一郎、出口竜也
登壇: 柴田義朗〔玉野市長〕、小林真一〔直島町長〕
モデレーター: 八巻恵子

第2回

9.26 [±]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク
『宇野港周辺に集まる長期滞在型観光のタネ』
案内人: 森美樹

p.m. 講座
『デジタルマーケティングの目的と課題を今一度考える』
講師: 永山卓也

第3回

10.23 [金]
p.m.
10.24 [±]
a.m.

p.m. 講座
『通過する街から、帰りたい街へ～外国人旅行者がもう泊りたくなる地域づくり～』(案)
講師: 櫻井亮太郎

a.m. フィールドワーク
『瀬戸内海はなぜ魅力的に映るのか』
案内人: 岡秀彦

第4回

11.21 [±]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク
『玉野サイクルライフ』
案内人: 毛利義史

p.m. 講座
『サイクルツーリズムとオーバーツーリズム課題への対応』
講師: 井上寿

第5回

12.6 [日]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク
『クライマーから見た王子が岳の岩たち』
案内人: 山本譲

p.m. 講座
『スイスから学ぶ、選ばれ続ける観光地のつくり方ーツェルマツトにみる地域経営と人づくり』
『玉野市の現状と全5回の振り返り、これから』
講師: 山田桂一郎
登壇: 出口竜也、八巻恵子 他

[全5回] フィールドワーク: 玉野市各所 / 講座: 玉野産業振興ビル | 全講座無料 |

〒706-0002 岡山県玉野市築港1丁目1-3

※フィールドワークは有料

一郎

観光・地域振興を務めている。近「マーケティング、プラン産省認定: 観光力アドバイザー、内教授、自治大学講「潮新書: 藻谷浩共著」。

参加もOK!
こちらから



anko-juku.org

玉野市は、製塩業や造船業等ものづくりのまちとして、また瀬戸内の島々への玄関口として発展してきました。宇野港には国内外から多くの旅行者が訪れる一方で、市内での滞在や回遊にはまだ大きな可能性が残されています。観光は、旅行者を呼び込むためのものではありません。地域に新たな仕事や消費、交流を生み、地域の暮らしと産業を支えていくための重要な経済戦略でもあります。

「たまの観光地」では、玉野市内でフィールドワークを行うとともに、観光や地域づくりの第一線で活躍する講師を迎え、各地の実践事例を学びます。玉野の海、港、山、まちなみ、暮らし、人の営みをどのように生かし、長く滞在したくなる地域をつくることができるのか。全5回の講演を通して、地域に暮らす人々の日常や快適な生活を守りながら、同時に地域課題の解決につながる玉野ならではの観光のあり方を考えます。

地域で事業を営む方、観光やまちづくりに関心のある方、これから地域で何かを始めたい方の参加をお待ちしています。

本講座は、玉野市における長期滞在型観光モデルの形成に向け、地域の担い手が学び、つながり、今後の取り組みを考えるための場です。

第1回

9.5^[土]
a.m. | p.m.

玉野市長
直島町長
セッション登壇



柴田義朗 [玉野市長]



小林眞一 [直島町長]

a.m. フィールドワーク…玉野アルプス登山体験

『玉野アルプスの魅力と可能性』

案内人: 古谷啓太郎 [玉野アルプス愛好会 会長]

時 間 9:00～11:00 定 員 20名
場 所 玉野・天狗山(予定) 参加費 2000円(保険料込)

p.m. 講座

1. 『選ばれ続ける地域とは —地域振興になぜ観光が必要なのか—』

講師: 山田桂一郎 [JTIC.SWISS 代表、観光カリスマ]

2. 『「通過」を「滞在」に変える地域経営』

講師: 出口竜也 [和歌山大学 観光学部 観光学科 教授]

3. 『キックオフセッション』

登壇: 山田桂一郎、出口竜也、

柴田義朗 [玉野市長]、小林眞一 [直島町長]

モデレーター: 八巻恵子 [就実大学 経営学部 経営学科 教授]

時 間 13:00～16:00(受付12:45～)
会 場 玉野産業振興ビル 3階 展示・会議室
定 員 100名+オンラインzoom
参加費 無料
交流会 16:00～17:00(同会場、参加無料、申込不要)

p.m. 講座

『デジタルマーケティングの 目的と課題を今一度考える』

講師: 永山卓也 [株式会社ユニットティ 代表取締役]

時 間 14:00～16:00(受付13:45～)
会 場 玉野産業振興ビル 3階 展示・会議室
定 員 50名+オンラインzoom
参加費 無料
交流会 16:00～17:00
(同会場、参加無料、申込不要)



アドバイザー

和歌山大学 観光学部
観光学科 教授

出口竜也

1964年石川県金沢市生まれ。1991年に徳島大学総合科学部専任講師に就任。同学部助教授を経て、2007年和歌山大学経済学部観光学科教授に転任。2008年より現職。専門は経営組織論、経営戦略論、観光経営論。近年は人類学的アプローチによる観光経営研究や産業集積研究に高い関心をもってさまざまな共同研究プロジェクトに参画している。



Keitaro
Furutani

玉野アルプス愛好会 会長
古谷啓太郎

玉野市の全域に渡る全長約45kmの低山を「玉野アルプス」と呼称。登山を楽しむだけでなく、登山道のシダ刈りや標識の設置等の整備のほか、ルートマップや活動状況等の情報発信を行う。株式会社SOLAではドローンパイロットとしても活動し、玉野アルプス、他県の山々、宇野港入港旅客船等の空撮動画を撮影している。



ガラス作家・
うのずくり代表
森美樹

ガラス制作を行うアトリエを求め、2007年に玉野市へ移住。2011年、「宇野に住んでつくる人」を増やすためのクリエイター移住プロジェクト「うのずくり」をはじめ。2016年、玉野市から「たまののIUコンシェルジュ」に認定され、市と連携しながら移住希望者の相談やサポート、空き家の調査・活用・紹介、開業支援などに携わる。

第2回

9.26^[土]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク
…宇野の街歩き

『宇野港周辺に集まる 長期滞在型観光のタネ』

案内人: 森美樹 [うのずくり 代表]

時 間 10:00～12:00
場 所 宇野駅・宇野港周辺
定 員 20名
参加費 1500円(保険料込)



株式会社ユニットティ
代表取締役 永山卓也

地域ビジネスのコンサルティング、店舗マネジメント業を中心にデジタル、アナログ両面を活かしたマーケティングで小売・飲食・宿泊業、観光業に豊富な経験。支援先は小さな店舗から大規模チェーン、地方自治体、地域団体と様々な方々から広い領域で活動。

第3回

10.23^[金]
p.m.

10.24^[土]
a.m.

10.23[金] p.m. 講座

『通過する街から、帰りたい街へ ～外国人旅行者がもう泊 したくなる地域づくり～』(案)

講師: 櫻井亮太郎 [株式会社ライフブリッジ 代表]

時 間 18:30～20:30(受付18:15～)
会 場 玉野産業振興ビル 3階 展示・会議室
定 員 50名+オンラインzoom
参加費 無料
交流会 20:30～21:30
(同会場、参加無料、申込不要)

玉野市立玉野海洋博物館
(渋川マリン水族館) 館長

岡秀彦



Hidehiko
Oka

瀬戸内海の海洋生物や貴重な貝類・標本類の展示に尽力し、観察会や環境学習の教室等を通して地域住民や来館者に瀬戸内海や海の生物の魅力を伝える。大学等と連携し、館内のガイドやバックヤードツアーを実施して学芸員の育成や普及活動にも貢献。

第4回

11.21^[土]
a.m. | p.m.

a.m. フィールドワーク…玉野のサイクルロードを走る

『玉野サイクルライフ』

案内人: 毛利義史 [株式会社Rin project 代表]

時 間 10:00～12:00
出 発 レンタサイクル玉野@おまち堂
定 員 10名
参加費 4000円(保険料、レンタサイクル代込)



Yoshiyuki
Mori

株式会社 Rin project 代表
毛利義史

自転車フィットネスのインストラクターを務めながら、自転車のトレーニングプログラム作成や指導者派遣などを手がける。2022年、「自転車のまち」を掲げる玉野市に関心を持ち移住。市内での自転車フィットネス教室ほか、自転車のある生活(サイクルライフ)の普及やサイクルツーリズムの可能性を拡げる活動を展開中。

a.m. フィールドワーク…王子が岳散策

『クライマーから見た王子が岳の岩たち』

案内人: 山本譲 [一般社団法人 岡山県山岳・
スポーツクライミング連盟 顧問]

時 間 9:00～11:00 定 員 20名
場 所 王子が岳 参加費 2000円(保険料込)



Jo
Yamamoto

一般社団法人 岡山県山岳・
スポーツクライミング連盟
顧問
山本譲

10代からクライミングを始め、日本のフリークライミング界を牽引。1970年代から王子が岳の岩場を開拓するとともに、魅力発信やイベント開催等を行ってきた。玉野市公式のボルダリングマップにコメントを寄せる。現在はクライマーの育成にも積極的に参画している。

株式会社ライフブリッジ
代表

櫻井亮太郎

インバウンド観光の専門家として全国で講演・研修を行うほか、YouTube「Ryotaro's Japan」を通じて日本の魅力を世界へ発信。自治体や観光事業者へのコンサルティング、地域資源を活用した観光コンテンツ作成、情報発信支援などを手掛け、地域活性化と国際交流に取り組む。内閣府クールジャパン・プロデューサー。

Ryotaro
Sakurai



10.24[土] a.m. フィールドワーク…海洋博物館・渋川見学

『瀬戸内海はなぜ人を惹きつけるのか』

案内人: 岡秀彦 [玉野市立玉野海洋博物館(渋川マリン水族館)館長]

時 間 10:00～12:00
場 所 玉野海洋博物館・渋川海岸
定 員 20名
参加費 2000円(保険料・入館料込)

p.m. 講座

『サイクルツーリズムと オーバーツーリズム課題への対応』

講師: 井上寿 [株式会社ライダス 代表取締役]

時 間 14:00～16:00(受付13:45～)
会 場 玉野産業振興ビル 3階 展示・会議室
定 員 50名+オンラインzoom
参加費 無料
交流会 16:00～17:00(同会場、参加無料、申込不要)

株式会社ライダス
代表取締役

井上寿

2001年に独立開業しスポーツ自転車業界に25年携わる中、2016年にスポーツ自転車でのツアーやコンサルティングを行う会社「株式会社ライダス」を設立。「日本の原風景を巡るサイクリング」をコンセプトに、国内外のサイクリストに向けてツアーを販売。旧街道のサイクリングをライフワークにし、ルポルタージュ本も撮影・執筆している。

第5回

12.6^[日]
a.m. | p.m.

p.m. 講座

1. 『スイスから学ぶ、 選ばれ続ける観光地のつくり方 —ツェルマットにみる地域経営と人づくり—』

講師: 山田桂一郎

2. 『玉野市の現状と全5回の振り返り、これから』

登壇: 出口竜也、八巻恵子 他

※講座の内容などはWebサイトなどで順次お知らせします。

時 間 13:00～16:00(受付12:45～)
会 場 玉野産業振興ビル 3階 展示・会議室
定 員 100名+オンラインzoom
参加費 無料
交流会 16:00～17:00(同会場、参加無料、申込不要)

プログラム単体の参加もOK!
詳細・申込はこちらから



<https://www.tamano-kanko-juku.org>

玉野市って どんなところ？

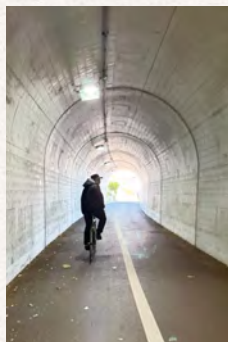


児島半島といわれる岡山県の南端に位置し、瀬戸内海の美しい景観に恵まれた温暖な港町です。地域の約6割を山地が占め、総延長44kmに及ぶ海岸線と日本の渚百選に選ばれた「渋川海岸」、瀬戸内海を一望できる「王子が岳」、県下最大級の都市公園「みやま公園」など、海と山が織りなす自然環境を有しています。

農産物など、瀬戸内ならではの恵みを味わうことができます。

市の中心部にある宇野港は、かつて本州と四国を結ぶ宇高連絡船の発着地として栄えました。今では大型船舶が着岸できる耐震バースに海外から多くのクルーズ客船が寄港するほか、直島・豊島・小豆島など瀬戸内海の島々を結ぶ海の玄関口として、たくさんの人々が行き交っています。近年は、瀬戸内国際芸術祭の本州側の拠点港としても国内外から数多くの来訪者を迎え、周辺には宿泊施設や飲食店などが増えてきています。

このように玉野市は、瀬戸内海の豊かな自然、人々の往来によって育まれてきた港、ものづくりの歴史が息づくまちです。



左上から時計回りに：大藪みかん／市営電鉄跡自転車道／宇野港／王子が岳／造船エリア／玉商店街

玉野市 DATA

人口：52,668人
世帯数：26,825世帯
(令和8年5月31日現在)

年齢層別人口比率 (令和7年3月31日時点)

- ・年少人口 (0～14歳) 9.19 %
- ・生産年齢人口
 - 15～19歳 3.80 %
 - 20～29歳 8.04 %
 - 30～39歳 8.63 %
 - 40～49歳 11.13 %
 - 50～59歳 13.67 %
 - 60～64歳 6.09 %
- ・老年人口 (65歳以上) 39.45 %

玉野の特産品

千両ナス	米粉
番田いも	ゲタ (下平目)
マルハチ梨	メバル
大藪みかん	穴子
玉野レモン	胸上りのり
雑穀	塩

令和8年度備前県民局地域づくり支援事業 『たまの観光塾』 vol.1 | 2026
通過するまちから、滞在したくなるまちへ旅と暮らしをつなぐ長期滞在型観光を考えるー

主催：就実大学

共催：NPO法人 みなと・まちづくり機構たまの(MMK)／うのずくり
後援：玉野市／直島町／公益社団法人玉野市観光協会／玉野市教育委員会
／玉野市コミュニティ協議会／玉野商工会議所／株式会社倉敷ケーブルテレビ
／山陽新聞社

コーディネーター：八巻恵子 [就実大学 経営学部 経営学科 教授]
グラフィックデザイン：結城鷹 [GraphiCurate]



たまの観光塾
たまの観光塾
@tamano.kanko.juku
Instagramでも情報発信中!



[問合せ]
たまの観光塾運営事務局(担当:小溝、森)
E-mail: tamano.kanko.juku@gmail.com
WEB: <https://www.tamano-kanko-juku.org>